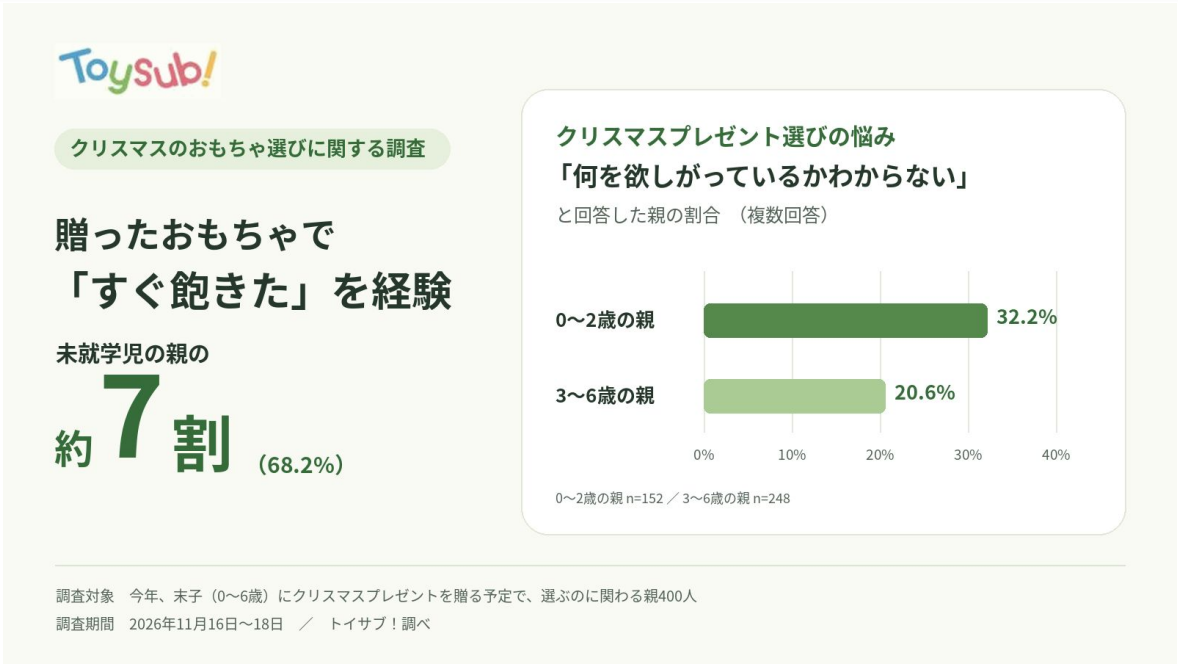
【Press Release】

報道関係者各位
2026年11月26日（木）
株式会社トラーナ

【クリスマスのおもちゃ選びに関する調査】

クリスマスプレゼント、約7割の親が「すぐ飽きた」を経験
0〜2歳の親の3人に1人は「何を欲しがっているかわからない」

遊ばなくなったおもちゃの合計金額は平均約1.4万円分、今年の予算を上回る
おもちゃプランナーが「好き」の見つけ方と「長く遊べるおもちゃ」の選び方を解説



知育おもちゃの定額制サービス「トイサブ！」を運営する株式会社トラーナ（本社：千葉県千葉市、代表取締役：武川克己）は、2026年11月、末子が0〜6歳の未就学児で、今年のクリスマスにその子へプレゼントを贈る予定のある全国の20〜49歳の男女400人を対象に「クリスマスのおもちゃ選びに関する調査」を実施しました。

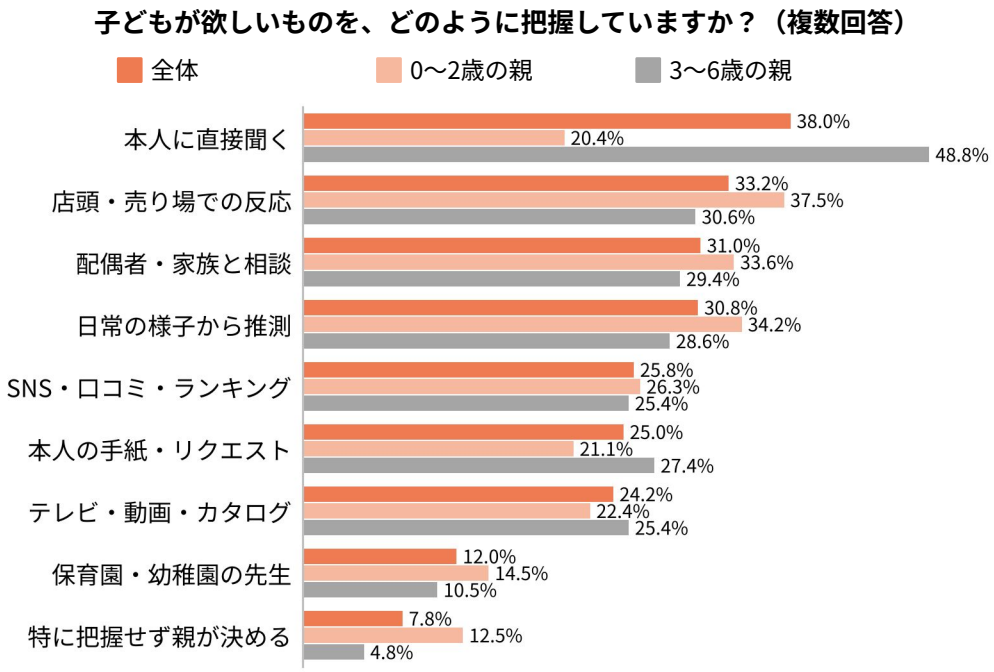
調査の結果、未就学児の親の約7割（68.2%）が、これまでに贈ったおもちゃで「すぐに飽きて遊ばなくなった」経験があることがわかりました。経験した親の46.2%は今年も「すぐに飽きないか心配」と答えており、経験のない親（22.0%）の約2倍にのぼります。また、0〜2歳の子どもの親で欲しいものを「本人に直接聞く」のは20.4%にとどまり、3人に1人（32.2%）が「何を欲しがっているかわからない」と悩んでいます。言葉で「欲しい」を伝えられない年齢のプレゼント選びは、親にとって悩みの種です。本リリースでは、調査結果とあわせて、「トイサブ！」のおもちゃプランナーが、子どもの「好き」の見つけ方と、すぐ飽きるを防ぐ「長く遊べるおもちゃ」の選び方を解説します。

【調査サマリー】

- **約7割（68.2%）の親が「すぐ飽きて遊ばなくなったおもちゃ」を経験**
- **遊ばなくなったおもちゃの合計金額は平均約1.4万円分**（推計）、今年のクリスマスプレゼントの予算を上回る
- 経験した親の**46.2%が今年も「すぐに飽きないか心配」**、未経験の親の約2倍
- **0〜2歳の親の3人に1人（32.2%）が「何を欲しがっているかわからない」**
- 0〜2歳の親で「本人に直接聞く」は20.4%、3〜6歳の親（48.8%）の半分以下
- 0〜2歳の親の82.9%が「おもちゃより箱や包装紙」に夢中になった経験あり

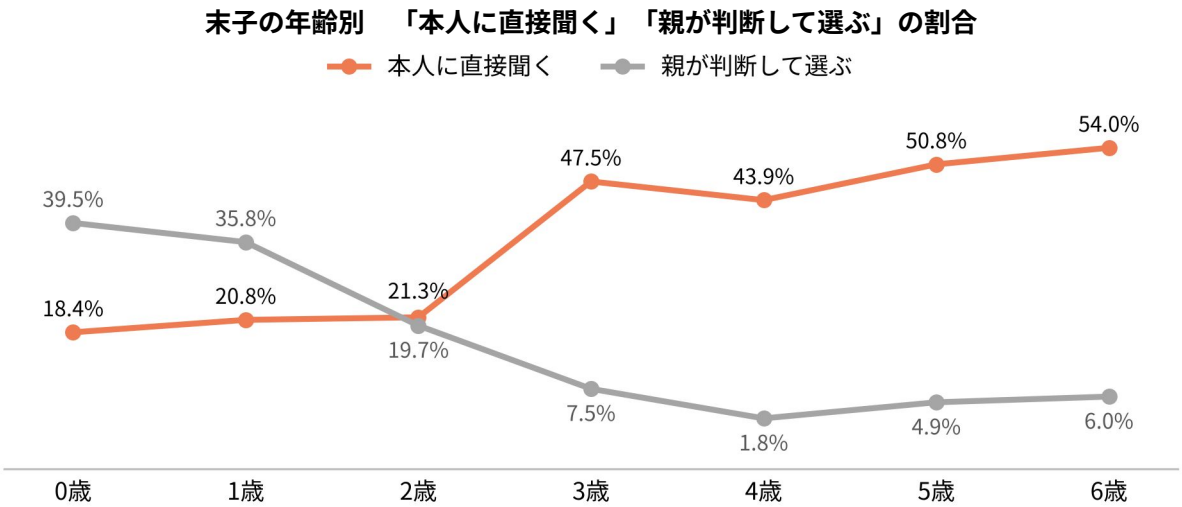
■0～2歳の親で「本人に直接聞く」は2割。店頭や日常の反応から「欲しいもの」を推測

子どもが欲しいものをどのように把握しているかを聞いたところ、0～2歳の子どもの親で「本人に直接聞く」は20.4%にとどまり、3～6歳の子どもの親（48.8%）の半分以下でした。0～2歳の親は「店頭・おもちゃ売り場での反応」（37.5%）や「日常の遊び方や様子から推測」（34.2%）、「配偶者・家族と相談」（33.6%）を手がかりにしています。言葉で「欲しい」を伝えられない年齢では、親が子どもの反応を読み取って選んでいる様子がうかがえます。



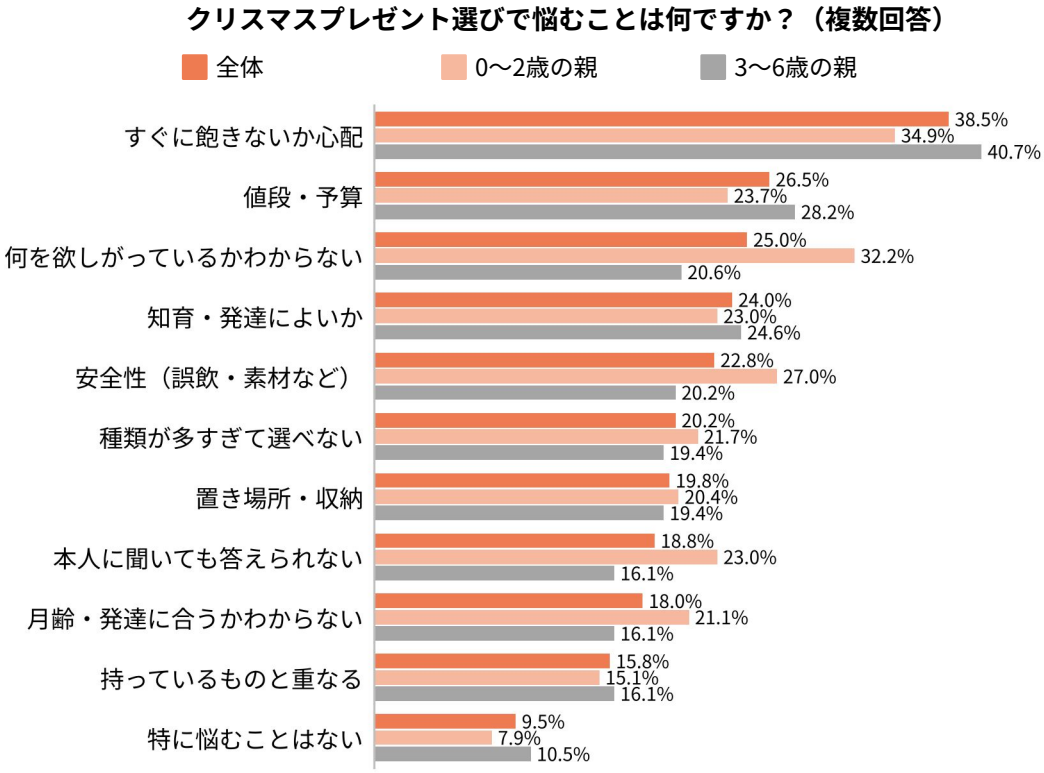
■「本人に聞ける」のは3歳から。2歳21.3%から3歳47.5%へ倍増

末子の年齢別に見ると、「本人に直接聞く」は0～2歳では2割前後ですが、3歳で47.5%と倍以上に増えます。反対に、プレゼントを「親が判断して選ぶ」は0歳で39.5%、1歳で35.8%ですが、3歳以降は1割未満に下がります。0～2歳の親全体では30.3%が「親が判断して選ぶ」と答えており、3～6歳の親（5.2%）との差がはっきり表れました。



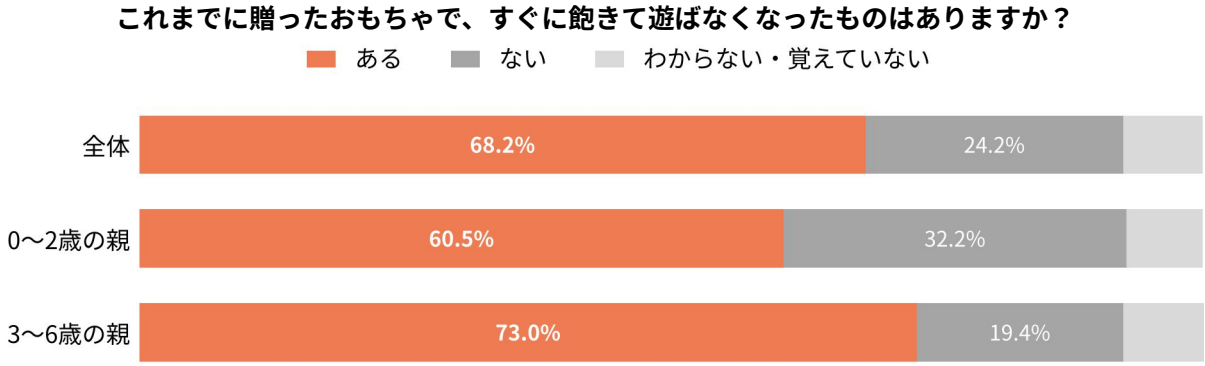
■0～2歳の親の3人に1人が「何を欲しがっているかわからない」。悩みの1位は「すぐに飽きないか心配」

クリスマスプレゼント選びの悩みを聞くと、全体の1位は「すぐに飽きないか心配」（38.5%）でした。0～2歳の親では「何を欲しがっているかわからない」が32.2%と3人に1人にのぼり、3～6歳の親（20.6%）を上回ります。喜ぶものを選べている自信も、「自信がある」「やや自信がある」の合計で0～2歳の親は55.9%と、3～6歳の親（68.1%）より12.2ポイント低くなりました。



■約7割が「すぐ飽きて遊ばなくなったおもちゃ」を経験。合計は平均約1.4万円で、今年の予算を上回る

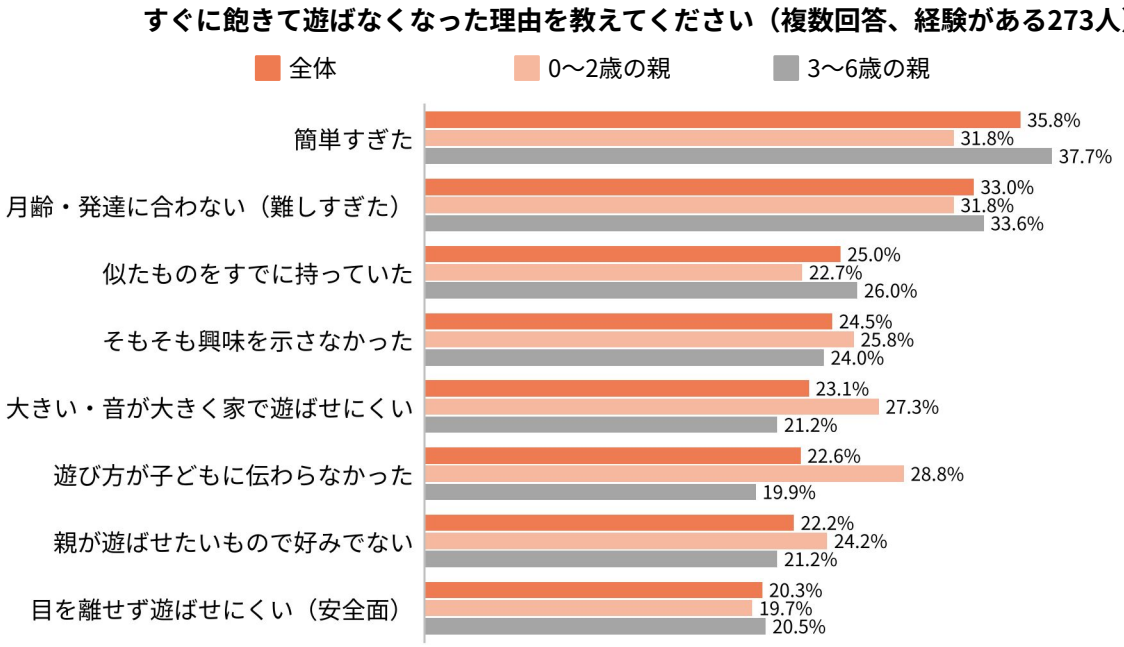
これまでに贈ったおもちゃで、すぐに飽きて遊ばなくなったものがあるかを聞いたところ、未就学児の親の68.2%が「ある」と答えました。そうしたおもちゃの合計金額は平均約14,300円（推計）で、今年のクリスマスプレゼントの予算（1人あたり平均約9,700円）を上回ります。プレゼント1回分以上の金額が、遊ばれないまま眠っている計算です。



※金額は選択肢の中央値から算出した推計。遊ばなくなったおもちゃの金額は「ある」と答えた人が対象

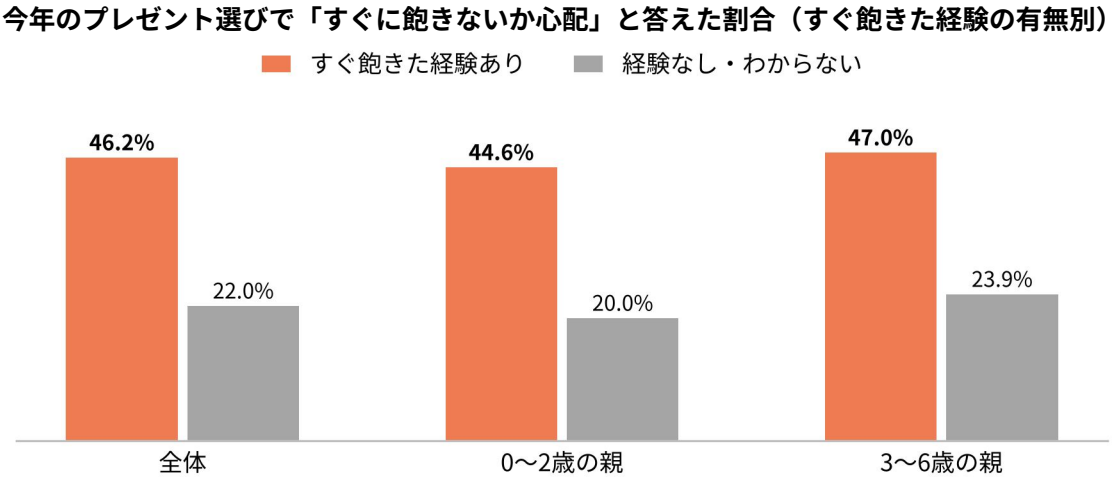
■遊ばなくなった理由は「簡単すぎた」「難しすぎた」。月齢・発達とのずれが上位に

すぐ飽きて遊ばなくなった理由を聞くと、「簡単すぎた」（35.8%）と「月齢・発達に合っていなかった（難しすぎた）」（33.0%）が上位に並びました。簡単すぎても難しすぎても遊ばなくなるため、今の発達に合ったものを選ぶことが大切だとわかります。0〜2歳の親では「遊び方が子どもに伝わらなかった」（28.8%）も多く、3〜6歳の親（19.9%）を上回ります。また、遊ばなくなった理由が「わからない」という親は0〜2歳で28.3%にのぼりました。



■去年の「すぐ飽きた」が今年の不安に。経験した親の46.2%が「すぐに飽きないか心配」

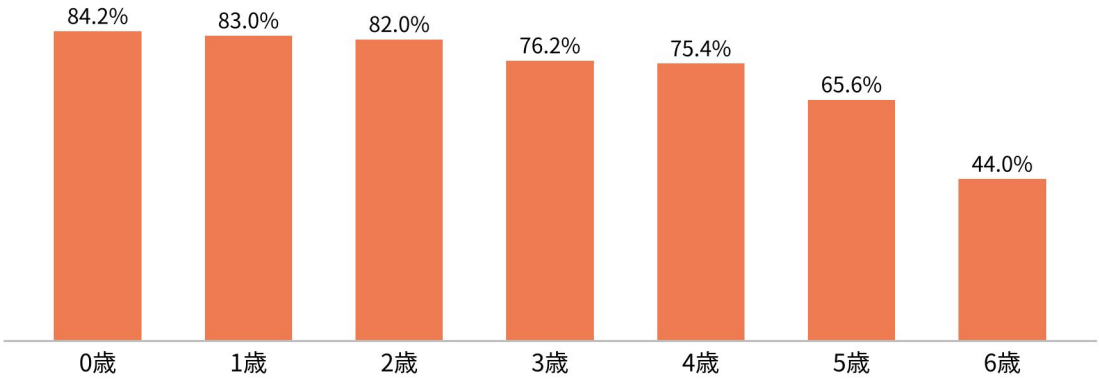
すぐ飽きて遊ばなくなったおもちゃを経験した親の46.2%が、今年のプレゼント選びでも「すぐに飽きないか心配」と答えました。経験のない親（22.0%）の約2倍で、0〜2歳の親（44.6%／20.0%）、3〜6歳の親（47.0%／23.9%）のどちらでも同じ傾向が見られます。一度の「失敗」が、次のプレゼント選びの不安につながっているようです。



■0～2歳の親の8割超が「おもちゃより箱や包装紙」に夢中になった経験あり

プレゼントしたおもちゃよりも、箱や包装紙で夢中になって遊んだことがあるかを聞くと、「よくある」「たまにある」の合計は0～2歳の親で82.9%、3～6歳の親で66.9%でした。末子の年齢別では0歳の84.2%から年齢とともに下がり、6歳では44.0%です。小さい子どもほど、破る・つぶす・出し入れするといった「自分で変化を起こせる」ものに興味を引かれていると考えられます（詳しくはプランナーの解説を参照）。

末子の年齢別　おもちゃより箱や包装紙に夢中になった経験（「よくある」＋「たまにある」）



■「失敗しないためにあったらよいもの」は「口コミ」「交換・返却」「購入前のお試し」

プレゼント選びで失敗しないためにあったらよいものを聞くと、「実際に使った人の口コミ」（34.0%）、「遊ばなくなったら交換・返却できる」（33.2%）、「買う前に一定期間、試して遊べる」（31.0%）が上位に並びました。「トイサブ！」では、専属のおもちゃプランナーがお子さまの月齢や発達、好みに合わせておもちゃを選びます。一定期間じっくり遊び込んだうえで、2ヶ月ごとにお子さまの成長や興味に合わせた新しいおもちゃに交換できます。プレゼントを買う前に「この子は何でよく遊ぶか」を試す方法としてもご利用いただけます。

▼アンケート概要

■調査名　クリスマスのおもちゃ選びに関する調査
■調査対象　全国の20～49歳の男女で、末子が0～6歳（未就学児）、今年のクリスマスにその子へプレゼントを贈る予定があり、選ぶのに関わる人400人（末子が0～2歳の親152人、3～6歳の親248人）
■調査期間　2026年11月16日～18日
■調査方法　インターネット調査
■調査監修　トイサブ！おもちゃプランナー
※本調査では小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

◆トイサブ！のおもちゃプランナーが解説　「好き」の見つけ方と、「すぐ飽きる」を防ぐおもちゃの選び方

言葉で「欲しい」を伝えられない年齢の子どもに、何を選べば長く遊んでくれるのか。トイサブ！のおもちゃプランナー、田村真葵が、クリスマスプレゼント選びのポイントを解説します。



田村 真葵（たむら まき）
トイサブ！おもちゃプランナー
学習院大学理学部数学科卒業。不動産開発、ウエディングプランナーを経て、トラーナに入社。一人ひとりに寄り添うプランニング力を生かし、子どもの成長段階や好みに合わせたおもちゃの選定とプランづくりを担当している。

【0〜2歳は「好き」より「好きじゃない」を見る】

「好きはとてもピンポイントなので、言葉の出ない年齢で見極めるのは難しいものです。私はむしろ『好きじゃない行動』を見るようにしています。音が鳴ったら耳をふさぐ、触ろうとしない、目をそらす。そうしたものを候補から外していくと、残ったところにその子の『好き』の可能性が広がっています。おもちゃ売り場では、足を止めたり、ふらっと近づいて触りたがったりするものが手がかりになります」

【「好き」のサインは月齢で変わる】

「好きのサインは、月齢によってかなり違います。0〜10か月ごろは、音が鳴るものをじっと見る、握る、引っ張る、口に入れるといった、五感と体を使う遊び。10か月〜1歳半ごろは、電話のボタンを押す、車を走らせるなど、大人のまねや『こうすればこうなる』という仕掛けを楽しみます。2歳半〜3歳以降は、お店屋さんごっこやお医者さんごっこなど、人と関わるごっこ遊びが好きになります。話せるようになった子や保育園に通っている子なら、『今日はどんな遊びをしたの？』と聞いてみてください。園で繰り返している遊びは、その子が好きな遊びです」

【箱や包装紙に夢中になるのは「自分で変化を起こせる」から】

「箱や包装紙は、破ったり、つぶしたり、自分が働きかけると形が変わります。自分の力で変化を起こせることが、子どもにはとても楽しいのです。普段と違うものが部屋にあるワクワク感もあります。箱に夢中になる子には、ボタンを押すと音が鳴る、入れたり出したりできるなど、自分の動きで変化が起きるおもちゃを選んであげるとよいと思います」

【「少し先」より「今」に合わせ、遊び方が広がるものを】

「長く遊べるようにと月齢より上のものを選ぶと、タイミングが合わずに興味を示さないことがあります。大切なのは、今の発達に合っていて、できることが増えるにつれて遊び方が変わっていくおもちゃを選ぶことです。本人が欲しがったものでも、思ったより遊ばないことはよくあります。好きな系統を押さえながら、遊び方の幅が広いものを選ぶと安心です」

【渡したあとは「好きな遊び」から誘う】

「たとえばパズルなら、いきなり『パズルしよう』と誘うよりも、お買い物ごっこが好きな子ならピースを商品に見立てて遊んでから、『じゃあここにはめてみようか』とつなげる。そうすると『遊ぶようになった』という声をよくいただきます」

【祖父母には「こういうときによく笑う」を伝える】

「離れて暮らすおじいちゃん、おばあちゃんには、親から伝えたほうがいいと思います。商品名でなくても、今好きな遊び、よく反応する音や感触、長く続けている遊び、どんなときによく笑っているか。それを手がかりに選んでもらうと、親が選ばないようなものが大当たりすることもあります」

◆おもちゃのプロが選ぶ　成長に寄り添い長く遊べる月齢別クリスマスプレゼント

　おもちゃプランナーの田村が、できることが増えるにつれて遊び方が広がり、長く遊べるおもちゃを月齢別に選びました。

0歳		あんよでキック！4WAYバイリンガル・ピアノジム	足で鍵盤を蹴ったり、手を伸ばして触れたり、全身で楽しめるベビージム。ねんね期からおすわり期まで遊び方が広がる
0歳		Spinny Pins	ピンを握って引き抜く、差し込む、転がす。手指を使う遊びが、成長とともに増えていく
1歳		スパイクの森のおうち	ハリネズミの出し入れや凹凸の触り比べ。色や形、数字にも親しめ、感触遊びから知的な遊びへ発展する
1歳		My Little Workshop	ネジを回す、ハンマーで叩く、型にはめる。仕掛け遊びから、成長とともにごっこ遊びへ広がる
2歳		Count Along Cash Register	商品をスキャンしたり、コインでお会計したり、英語の音声や歌を楽しんだり。お店屋さんごっこの世界が広がる
2歳		ララブームビーズ 21ピースバラエティセット	シンプルな遊びから自由な作品づくりまで。色や形を組み合わせて、自分だけの作品を生み出せる
3〜6歳		スタッキングジグソーズ	パズルのように組み合わせたり、バランスを考えて積み上げたり。試行錯誤しながら挑戦でき、達成感も味わえる
3〜6歳		NEW くみくみスロープ	はじめは大人と一緒にコースを作り、ボールを転がして楽しむところから、少しずつ自分でパーツを組み合わせたり、コースを工夫したりする面白さへと遊びが広がる

【株式会社トラーナ 概要】

・会社名：株式会社トラーナ
・所在地：〒260-0003 千葉県千葉市中央区鶴沢町20-16 ユニバース千葉ビル1階
・代表者：武川克己
・設立：2015年3月
・公式サイト：https://torana.co.jp/
・関連サービス：知育玩具サブスクリプションサービス「トイサブ！」、ベビー用品レンタルサービス「トイサブ！レンタル」

＜「トイサブ！」サービス概要＞

　トイサブ！は、0歳3か月～満6歳の未就学児のお子さま一人ひとりの成長に合わせた知育玩具が届く定額制の知育サービス。「幸せな親子時間を増やそうぜ」のコーポレートビジョンのもと、2015年11月より運営を開始し、「知育玩具サブスクリプション 会員登録者数 NO.1※」を3年連続で獲得しております。
　お子さまの成長・発達に合わせて、知育のプロであるおもちゃプランナーが、約1,800種類の知育玩具の中から最適な知育玩具を完全パーソナライズでご提案。定価総額17,000円以上の知育玩具6点を2か月ごとにお届け・交換するトイサブ！スタンダードのほか、お客さまのライフスタイルに合った複数コースをご提供しています。
※TPCマーケティングリサーチ株式会社調べ（2023年8月時点）　公式サイト：https://toysub.net